

# 銃剣道競技プログラム

期日/平成26年8月24日(日) 場所/白山市松任総合運動公園柔剣道場

東日本大震災復興支援

# HOKUSHIN ETSU KOKUMIN TAIKU TAIKAI 2014

第35回  
北信越国民体育大会  
2014 8.22 FRI - 24 SUN

瞬刻の躍動、そして栄光の煌きへ。



主催/ (公財)日本体育協会・石川県・富山県・長野県・福井県・新潟県・石川県教育委員会  
富山県教育委員会・長野県教育委員会・福井県教育委員会・新潟県教育委員会  
(公財)石川県体育協会・(公財)富山県体育協会  
(公財)長野県体育協会・(公財)福井県体育協会・(公財)新潟県体育協会  
共催/ 会場地市町・会場地市町教育委員会  
後援/ 文部科学省  
主管/ (公財)石川県体育協会・石川県各競技団体



RING!RING!  
プロジェクト  
競輪の補助事業

この事業は、競輪の補助金を受けて実施します。

<http://ringring-keirin.jp>



## 開催の趣旨

国民体育大会の趣旨に則り、その予選会として北信越地域の人々に広くスポーツを普及し、スポーツ精神の高揚を図り、健康増進と体力向上を目指し、併せて5県の親睦と交流を深めるとともに、地方のスポーツ振興及び文化の発展に寄与することを目的とする。

## 日本体育協会スポーツ憲章

「スポーツ精神」とは、自らスポーツを行うことに意義と価値をもち、スポーツの競技規則、スポーツマンシップやフェアプレーに代表されるマナー、エチケットなどのスポーツ規範に基づき、生涯を通じて自己の能力・適正等に応じて、主体的・継続的にスポーツの楽しさや喜びを味わうことを意味するものとする。

(公益財団法人日本体育協会スポーツ憲章より抜粋)

目 次

若い力	1	式典次第・諸会議日程	8
石川県民の歌	1	競技日程	9
あいさつ	2	競技組み合わせ表	9
祝辞	3	競技上の規定及び試合方法	10
あいさつ	4	成績一覧表	11
歓迎のことば	5	銃剣道競技の見方	13
競技役員	6	競技会場案内図	16
競技役員	7	宿舎・大会本部等	17

若い力

(財)日本体育協会選定

佐伯 孝夫 作詞  
高田 信一 作曲

一、若い力と感激に

燃えよ若人 胸を張れ

歓喜あふれる ユニフォーム

肩にひとひら 花が散る

花も輝け 希望にみちて

競え青春 強き者

二、薫る英気と 純情に

瞳あかるい スポーツマン

僕によるこび 君のもの

挙る凱歌に 虹が立つ

友情身にしむ 熱こそいのち

競え青春 強き者

石川県民の歌

梅木 宗一 作詞  
窪田 新一 作曲

一、白山に 朝日ははえて

青雲の はれゆくところ

名にかおる 歴史をつぎて

むすばれし われら県民

躍進の 旗をかざして

おおわが石川 ふるいおこさん

二、加賀平野 能登半島に

海山の さち呼ぶところ

うちつどう ちまたの野辺に

工芸の 花咲きにおい

はるかなる 稲田はみゆる

おおわが石川 ひらきのばさん

三、日本海 北にひらけて

希望の日 明けゆくところ

いでゆわき 地はゆたかなり

この国土 いよよ榮えて

人の和に 世界を結ぶ

おおわが石川 歌いたたえん

## あいさつ



第35回北信越国民体育大会会長  
公益財団法人石川県体育協会会長

石川県知事 谷本正憲

第35回北信越国民体育大会が、北信越各県の選手・監督・役員の皆様をお迎えし、ここ石川の地において盛大に開催されますことをお慶び申し上げます。また、ご来県いただきました皆様に心から歓迎申し上げます。

本大会は、北信越地区最大のスポーツの祭典であり、各県を代表する精鋭が、今秋長崎で開催される第69回国民体育大会「長崎がんばらんば国体2014」への出場をめざし、郷土の名誉と誇りを胸に、熱戦を繰り広げる場であります。

2020年のオリンピック・パラリンピックの開催地が東京に決定し、スポーツに対する国民の興味・関心が益々高まる中、本大会の開催は、北信越地区の競技力向上をはじめとしたスポーツ振興に大きく寄与するものと確信しております。

参加される選手の皆様には、日ごろ鍛えた力と技を存分に発揮され、観戦される方々に感動を与えるような白熱した戦いを展開されるとともに、スポーツを通して交流の輪を広げられ、思い出に残る素晴らしい大会となることを願っております。

また、県外からお越しいただいた皆様には、折角の機会でありますので、加賀百万石の歴史や伝統文化、「能登の里山里海」をはじめとする豊かな自然や新鮮な海・山の幸など、本県の多彩な魅力もご堪能いただければ幸いです。

最後に、本大会の開催にあたりご尽力いただきました会場の市町をはじめ、関係の皆様方に深く感謝を申し上げますとともに、選手の皆様のご健闘と本大会の成功を祈念いたしまして、あいさつといたします。

## 祝 辞



石川県議会議長 吉崎吉規

北信越5県から多くの選手・役員の皆様をお迎えし、第35回北信越国民体育大会が盛大に開催されるに当たり、石川県議会を代表いたしまして、心から歓迎申し上げます。

本大会は、長崎県で開催される「長崎がんばらんば国体」への予選会として、また、北信越地域のスポーツの振興と発展に大きく寄与する大会であり、スポーツを通して、競技する方だけでなく、観戦する方や応援する方、全ての人々に夢と感動を与えてくれるものと大いに期待しております。

本県では、魅力あるスポーツ・文化づくりの推進を目指しており、平成3年に「石川国体」、平成12年に「全国スポレク祭」、平成22年に「ねんりんピック」、平成23年には「日本スポーツマスターズ」を開催し、県民の各年齢層においてスポーツに対する関心や活動が大きな高まりを見せております。

また、来春には、いよいよ北陸新幹線が開業します。これにあわせて、「日本スポーツマスターズ2015」の開催も予定されており、バレーボール、バスケットボールなど13競技に全国から多くのスポーツ愛好家が集い、石川の地で熱戦を繰り広げるとともに交流を深めることとなっております。

日々の厳しい練習とたゆまぬ努力により、各県の予選を勝ち抜かれた選手の皆様には、これまで鍛えた力と技を十分に発揮され、輝かしい成績を収められますとともに選手相互の友情を深め、心に残る素晴らしい大会となることを心から願っております。

終わりに、本大会の運営に当たられます役員の方々をはじめ、関係各位のご労苦に深く敬意と感謝の意を表しますとともに、本大会のご成功と選手の皆様のご健闘を心からお祈りいたしまして、お祝いの言葉といたします。

## あいさつ



石川県銃剣道連盟 会長 紐野 義昭

今年は、石川県において開催されます第 35 回北信越国民体育大会に、ご来県の北信越各県選手役員各位には、心より歓迎を申し上げます。

さて、皆様方には日頃から銃剣道の普及発展と青少年育成に積極的ご尽力をいただいておりますが、ご承知のとおり武道の本質は「自己に対する努力と厳しさの追求、そして他者に対する尊敬と思いやりにある」と言われているように、まさに日本人らしさを求めるそのものであると感じております。

選手の皆様方には、武道修行はもちろんのこと、また人間形成においても途次にあるのかもしれませんが、本大会でも皆さんが置かれているその立場・役割を十分に認識した上でより謙虚な姿勢で、何かを学びとるという気持ちを持ち試合に臨んで頂きたいと強く願うものであります。更に、それぞれの郷土の榮譽を担って、本国体への出場権を目指し日頃の鍛錬の成果を遺憾なく発揮され、多くの感動を与える素晴らしい試合を展開されることを期待しております。

終わりにになりましたが、ご来賓並びに関係各位の日頃よりのご指導、ご鞭撻に厚く御礼申し上げますとともに、本大会の運営にあたっていただきます白山市の関係者をはじめ、大会役員の皆様方に重ねて敬意を表してご挨拶といたします。

## 歓迎のことば



白山市長 作野 広昭

霊峰白山を仰ぎ、清らかな手取川を経て、日本海にいたる豊かな美しい自然を有するここ白山市において、第35回北信越国民体育大会が、開催されますことは誠に喜ばしく、11万市民とともに心から歓迎申し上げます。

本市では、白山から日本海までの豊かな自然と共生する、活力あるまちづくりを目指し、感性豊かで思いやりの心を育むため、スポーツ面においては、競技力の向上はもとより、生涯スポーツの普及・振興にも努めているところであります。

今回の大会開催を機に、市民一人一人がスポーツライフを楽しめる環境づくりを更に推進していきたいと考えております。

また、来年3月に北陸新幹線金沢開業を迎える中、「日本スポーツマスターズ2015石川大会」の開催に向けて準備を進めており、シニア世代を対象としたスポーツの祭典として交流人口の一層の拡大を図り、石川県全体の活性化につながることを期待するものであります。

選手の皆様には、各県の代表として日頃の練習の成果を存分に発揮され、交流を通してお互いの親睦を深めていただき、更には、自然豊かなこの白山市を満喫していただければ幸いです。

結びに、本大会の開催にあたり、ご尽力を賜りました関係各位にお礼と感謝を申し上げますとともに、選手の皆様のご健闘を祈念いたしまして、歓迎のことばといたします。

## 競 技 会 役 員

名誉会長	作野 広昭				
会 長	紐野 義昭				
副 会 長	稲田 朋美	光澤 鶴美	本郷 一彦	北條 雄一	
顧 問	寺越 和洋	川上 隆夫	松井 毅	北村 茂男	
	岡田 直樹	戒田 重雄	山本 祐一	四田昌一郎	
	山本 正美	黒島 秀介			
参 与	中村 久昭	田中 展郎	船木 一璋		
委 員 長	山田 正雄				
副委員長	桑原 義喜	猪 友一	井畠 大	後上 隆	
	元雄 佳廣	松井 清雄	中村 定市	高柳 陽一	
委 員	武田 秀則	山岸 卓郎	増田 宇秀	小林 七郎	
	高柳 孝	丸山 郁男	奥野 幸治	紙谷 辰也	
	宮下 正栄	若島二三夫	今村 健一	脇本 伸一	
	宮岸 政男	藤本 幸雄	中 正章	本間 雅之	
	中村 順哉	奥村 勝夫	堀口 寛之	川口 信夫	
	福海 外吉	南 敏幸	小倉 章	角 能充	
	矢富 則夫	香川 満	張石 稔	清水 満	
	北井 俊一	丸井 昭宣	曾良 正嗣	岡部 友次	



## 競 技 役 員

競技委員長	山田 正雄				
競技副委員長	元雄 佳廣				
審判長	中村 定市				
審判員	小倉 章	福海 外吉	井畠 大	渡邊 誠	
	角谷 義弘	三田村則昭	松田千眞男	猪 友一	
	北村 義宏	後上 隆			
指導普及係	高柳 陽一				
総務係	脇本 伸一	張石 稔	川口 信夫		
進行係	宮岸 政男	堀口 寛之	宮村 康大	奥野 幸治	
記録係	中 正章	角 能充	宇田 耕征	奥村 勝夫	
会場係	松井 清雄	藤本 幸雄	木下 敬介		
放送係	南 敏幸	本間 雅之	安藤 学		
時計係	若島二三夫	矢富 則夫	紙谷 辰也	千田 祐二	
救護係	今村 健一				
補助役員	清水 満				
補助員	加賀地区銃剣道連盟会員				

## 式典次第

### 【開始式】

期日 平成26年8月24日(日)

時間 9時00分～

場所 白山市松任総合運動公園体育館柔剣道場

### 【表彰式】

期日 平成26年8月24日(日)

時間 試合終了後

場所 白山市松任総合運動公園体育館柔剣道場

### 次 第

1. 選手団整列
2. 開式通告
3. 競技開始宣言
4. 競技会会長挨拶
5. 審判長注意
6. 選手宣誓
7. 競技開始

### 次 第

1. 選手団整列
2. 開式通告
3. 成績発表
4. 表彰状授与
5. 講評
6. 閉会の挨拶
7. 競技終了宣言

## 諸会議日程

会議名	期日	時間	場所	電話番号
監督・審判会議	8月23日(土)	17時00分	白山市松任総合運動公園 体育館柔剣道場	076-276-4844

## 競 技 日 程

開始式 平成26年8月24日(日) 9時00分 ~
表彰式 平成26年8月24日(日) 試合終了後

## 競技組み合わせ表

5チームリーグ戦

試合開始 9:30 試合終了 12:00

試合順序	県別	1 石川	2 長野	3 富山	4 福井	5 新潟	勝数	勝本数	順位
① 1-5 ② 2-3 ③ 1-4 ④ 2-5 ⑤ 3-4 ⑥ 1-2 ⑦ 3-5 ⑧ 2-4 ⑨ 1-3 ⑩ 4-5	1 石川	/							
	2 長野		/						
	3 富山			/					
	4 福井				/				
	5 新潟					/			

- ・ 組み合わせは、抽選とし番号をつける。
- ・ 代表戦は、銃剣道競技規定による。

第69回国民体育大会 北信越ブロック代表者数 1

## 選手・監督名簿

県名	監督	先鋒	中堅	大将
新潟県	長谷川 元	野口 将史	高橋 駿平	高井 優樹
長野県	井口 喜八	塩原 正悟	風間 勇人	飯干 貴史
富山県	濱谷 隆平	古川 亮	平林 治親	堀井 健志郎
福井県	増田 宇秀	江藤 稜太	林 寛大	西嶋 樹里央
石川県	高柳 陽一	山室 溪太	関野 匠	堀井 那央弥

## 競技上の規程及び試合方法

- 1.1 チーム 3 名（先鋒、中堅、大将）とし、試合方法はリーグ戦とする。
2. 勝負は 3 本勝負、試合時間は 5 分、延長 2 分とし、勝負が決しない場合は判定による。
3. 順位の決定は、勝ち数による。勝ち数が同数の場合は、勝ち本数による勝ち本数が同数の場合は、代表決定戦による。代表決定戦は、チームごとフリーとする。
4. 代表戦は、1 本勝負とし、試合時間は 5 分、延長 2 分毎で勝負が決するまで行う。
5. 審判は 3 人制とし、公益社団法人全日本銃剣道連盟が定める、銃剣道試合、審判規則及び細則による

以 上

## 北信越国民体育大会(銃剣道)成績一覽表

回・年 度	優 勝		
	県 名	監 督	選 手
第1回昭和55年度	新潟	6段 佐々木 正彦	(初)関峯 雪 ・ (初)高橋 隆司 (初)坂井 英治
第2回昭和56年度	新潟	6段 佐々木 正彦	(初)関峯 雪 ・ (初)金子 淳 (初)菅原 辰広
第3回昭和57年度	石川	5段 元雄 佳広	(2)元雄 善和 ・ (2)杉本 実 (2)村井 雅彦
第4回昭和58年度	石川	5段 元雄 佳広	(2)元雄 善和 ・ (2)杉本 実 (2)村井 雅彦
第5回昭和59年度	新潟	6段 佐々木 正彦	(初)豊崎 堅一 ・ (初)角田 清志 (初)高野 重幸
第6回昭和60年度	新潟	6段 佐々木 正彦	(2)角田 清志 ・ (2)安彦 勉 (2)吉田 猛
第7回昭和61年度	石川	7段 橋本 博	(初)小野 憲幸 ・ (初)朝倉 健史 (初)小橋 実
第8回昭和62年度	新潟	7段 佐々木 正彦	(2)込山 勝時 ・ (2)東城 清 (2)五十嵐正志
第9回昭和63年度	新潟	7段 佐々木 正彦	(2)込山 勝時 ・ (2)東城 清 (2)五十嵐正志
第10回平成元年度	長野	6段 井口 喜八	(2)手塚 佳徳 ・ (2)百瀬 典昭 (2)熊谷 敦徳
第11回平成2年度	新潟	7段 佐々木 正彦	(初)丸山 育男 ・ (初)新保 正春 (2)中村 克行
第12回平成3年度	新潟	7段 佐々木 正彦	(初)丸山 育男 ・ (初)新保 正春 (初)野崎 和也
第13回平成4年度	石川	無段 橋本 浩照	(3)森元 誠 ・ (2)中村 友和 (3)長瀬 光宜
第14回平成5年度	富山	6段 斎藤 良隆	(2)坂井 剛志 ・ (2)稲塚 勝彦 (2)田中 幸一
第15回平成6年度	富山	6段 斎藤 良隆	(2)国井 稔 ・ (初)神能 貴典 (2)林 朋紀
第16回平成7年度	富山	6段 斎藤 良隆	(初)広瀬 敬久 ・ (2)国井 稔 (2)林 朋紀
第17回平成8年度	富山	7段 斎藤 良隆	(2)小西 孝典 ・ (3)神能 貴典 (3)広瀬 敬久
第18回平成9年度	福井	8段 桑原 義喜	(初)内田 一也 ・ (初)木藤 洋介 (初)谷口 裕規
第19回平成10年度	富山	7段 深江 安雄	(2)鞍馬 克宏 ・ (初)鞍馬 孝之 (初)小塚 久雄
第20回平成11年度	富山	7段 深江 安雄	(初)中保 竜也 ・ (3)鞍馬 克宏 (2)小塚 久雄
第21回平成12年度	新潟	6段 長谷川 元	(2)堀江 幸喜 ・ (初)森田 幸尚 (2)原田 亮
第22回平成13年度	富山	7段 橋本 峰雄	(2)野口 昭 ・ (2)西野 義嗣 (2)北 知治
第23回平成14年度	富山	8段 富田 文春	(3)野口 昭 ・ (3)西野 義嗣 (初)明和 史恭
第24回平成15年度	新潟	7段 長谷川 元	(初)前山 敬史 ・ (2)渡邊 亨介 (初)小林 大祐
第25回平成16年度	石川	8段 山田 正雄	(初)中村 史也 ・ (初)坂口 慶太 (初)古谷 圭遼

回・年 度	優 勝		
	県 名	監 督	選 手
第26回平成17年度	石川	8段 山田 正雄	(初)大川 翔平 ・ (初)坂口 慶太 (初)古谷 圭遼
第27回平成18年度	石川	6段 小田 晃平	(初)奥野 功章 ・ (初)田實 雄大 (初)尾上 健司
第28回平成19年度	石川	7段 小田 晃平	(初)小堀 裕和 ・ (2)松木 大輔 (2)中村 栄宏
第29回平成20年度	新潟	6段 丸山 育男	(2)近藤 史章 ・ (初)児玉 恭平 (初)棒 論
第30回平成21年度	石川	7段 高柳 陽一	(初)吉田 翔 ・ (2)永井 一登 (初)正木 昇
第31回平成22年度	新潟	7段 長谷川 元	(初)山田 剛弘 ・ (初)棒 論 (初)児玉 恭平
第32回平成23年度	石川	7段 高柳 陽一	(初)北村 雅之 ・ (3)渡辺 一矢 (3)佐藤 悠太
第33回平成24年度	新潟	7段 長谷川 元	(初)高井 洸太 ・ (初)大谷 竜輝 (初)渡邊 健斗
第34回平成25年度	新潟	7段 長谷川 元	(初)渡邊 健斗 ・ (初)高井 洸太 (初)大谷 竜輝

# 銃剣道競技の見方

## 1. 銃剣道競技とは？

### 「銃剣道の由来」

銃剣道は、わが国の伝統的古武道の一つである槍（やり）の突き技を源流とした武道です。史実によると、上野の東京国立博物館所蔵の宝蔵院流槍術秘事「寛政10年4月、早川長左衛門手記」を主体に、その他の槍術流派では佐分利流・正田流・貫流等が研究対象になり、その秘術を余す処なく取り入れるとともに、槍術や剣道の理合い等を合わせて研究を重ね、日本人の体格や性格に最も適合した純日本武道として、明治25年（1892年）集大成されたものです。

銃剣道は、突き技を中心とした単純な動作ですから会得するまでは容易ですが、奥義を極めようとするには懐（ふところ）の深い武道です。

### 「国民スポーツとしての銃剣道」

社団法人 全日本銃剣道連盟は、文部科学省及び(財)日本体育協会の傘下において、武道としての心身の鍛錬を通じて気力・体力を育成する体育的効果と競技力を高めるスポーツ的効果並びに健全な精神的資質（誠実・礼節・信義・勇氣・質実剛健・克己心）を養い、国民スポーツとして品位高尚な人間形成を図っています。

連盟が求めている銃剣道は、「やって楽しい・見て楽しい銃剣道」を目指し、洗練された品格のある技の駆使と、公正・的確な審判により「判り易く、スピーディーで、美しい」試合を具現することにあります。

「美しい」とは、常に相手に敬意を払い、礼に始まり礼に終わる礼儀正しい態度、勝って奢らず、負けて悪びれない爽やかな態度、理合いに叶った突き技を駆使し正面から勝負に挑む正々堂々たる態度であり、躰・マナーを欠き粗野で荒々しい試合は厳に戒め、常に明るく、正しく、強く、逞しいものを求めています。

### 「国民体育大会の参加」

昭和31年全日本銃剣道連盟が結成され、青少年への健全なスポーツ活動への普及に努め、小・中学校・高校生及び大学生のクラブ活動、成年の社会体育活動等に普及発展し、昭和48年に日本体育協会の加連盟競技団体となり、昭和55年の国民体育大会（栃木）から、国体の正式種目となり、広く国民スポーツとして発展してきております。

## 2. 銃剣道競技の試合の見方は

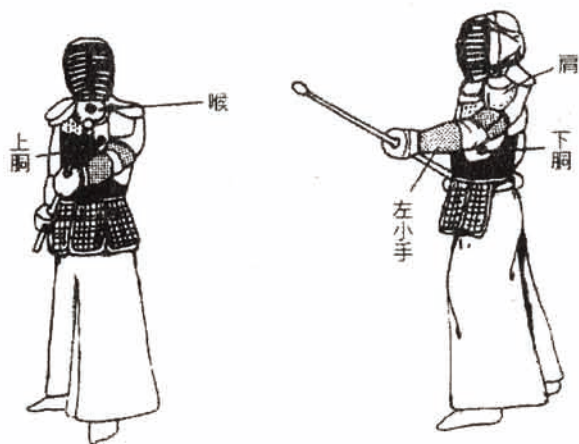
銃剣道は木銃を用いて相手の「左胸部」と「のど」突いて勝敗を競う競技です。

試合で一本となる主な有効突き部位は、相手の左拳の上部から左胸部を突く「上胴（うわどう）」、相手の左拳の下部から左胸部を突く「下胴（したどう）」、相手の喉を突く「のど」でそのほかに相手の姿勢が崩れた時に突く「左肩」や「正面胴」、相手が左腕で左胸部を隠した時に突く「左小手」も有効な突き部位となります。

銃剣道は突き技のみで打ち技は無く、相手の木銃を払う技以外は禁止されています。

試合で一本となる「有効突き」とは、充実した氣勢・正しい姿勢で有効突き部位を剣筋を正しく突き、木銃を引き抜いた後に残心（油断のないこと）のある気・剣・体の一致した技でなければなりません。

試合では、相手との間合いを測り、相手の構えている木銃や相手の突きを「打ち払う」「かわす」「摺り上げる」「巻き落す」「押さえる」等して体勢を崩したり心の乱れを誘って隙をつくるとともに、相手が出てくるところ、さがるところ、技の尽きたところ等の相手の一瞬の隙を見逃さず、迷うことなく技を繰り出して勝敗を競います。



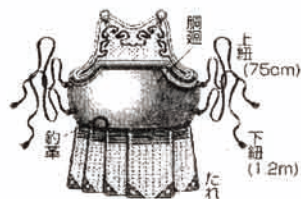
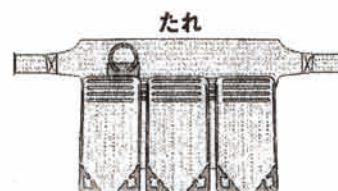
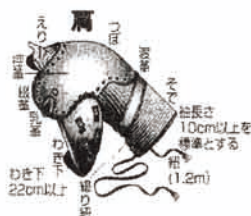
[用具]

銃剣道の用具には、木銃と防具があります。

- ※ 木銃：長さ=166センチメートル
- 重さ=1,100グラム以上
- 材質=樫の木等
- 形 = 右図のとおり



※ 防具には、面・胴・肩・たれ・左小手・裏ぶとん・指袋（右手）があります。

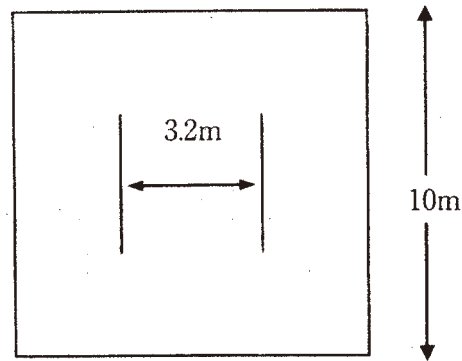


※ 服装は白又は紺系統の稽古着・袴を着用、稽古着の右上腕部に称号・段位を表す識別章を付けます。



[試合場]

板張りの床（武道館又は体育館）に縦・横10メートルの正方形の「区画線」を設け、その中心点からそれぞれ1.6メートルの位置に「試合開始線」を表示します。区画線の外を「場外」といい、試合中に場外に出ると反則になります。



### 3. 勝ち負けはどのように決まるか

3人の審判員が赤・白の審判旗で「有効突き」を表示（認めた方の旗を斜め上にあげる）し2人以上の審判員が挙げた場合に1本となり、2本先取りした方が勝ちとなります。

ただし、1本を取り試合時間（5分）が終わったときは、1本を取っている方が勝ちとなります（1本勝）。試合時間（5分）内に勝負が決しない場合は、延長2分の試合を続け1本先取した方を勝とします。ただし、決勝戦は延長で勝敗が決しない場合、再延長2分を2回まで行います。延長時間内に勝敗が決しない場合は、3人の審判員の「優劣の判定」により勝敗を決めます（判定勝）。

[審判員の表示と有効突きの判定]

「有効突き」：有効と認める。(○)  
[旗を斜め上にあげる]

「無効」：有効と認めない。(×)  
[旗を体の前下で左右に振る]

「棄権」：分からない。(△)  
[旗を体の前下で交差し止める]

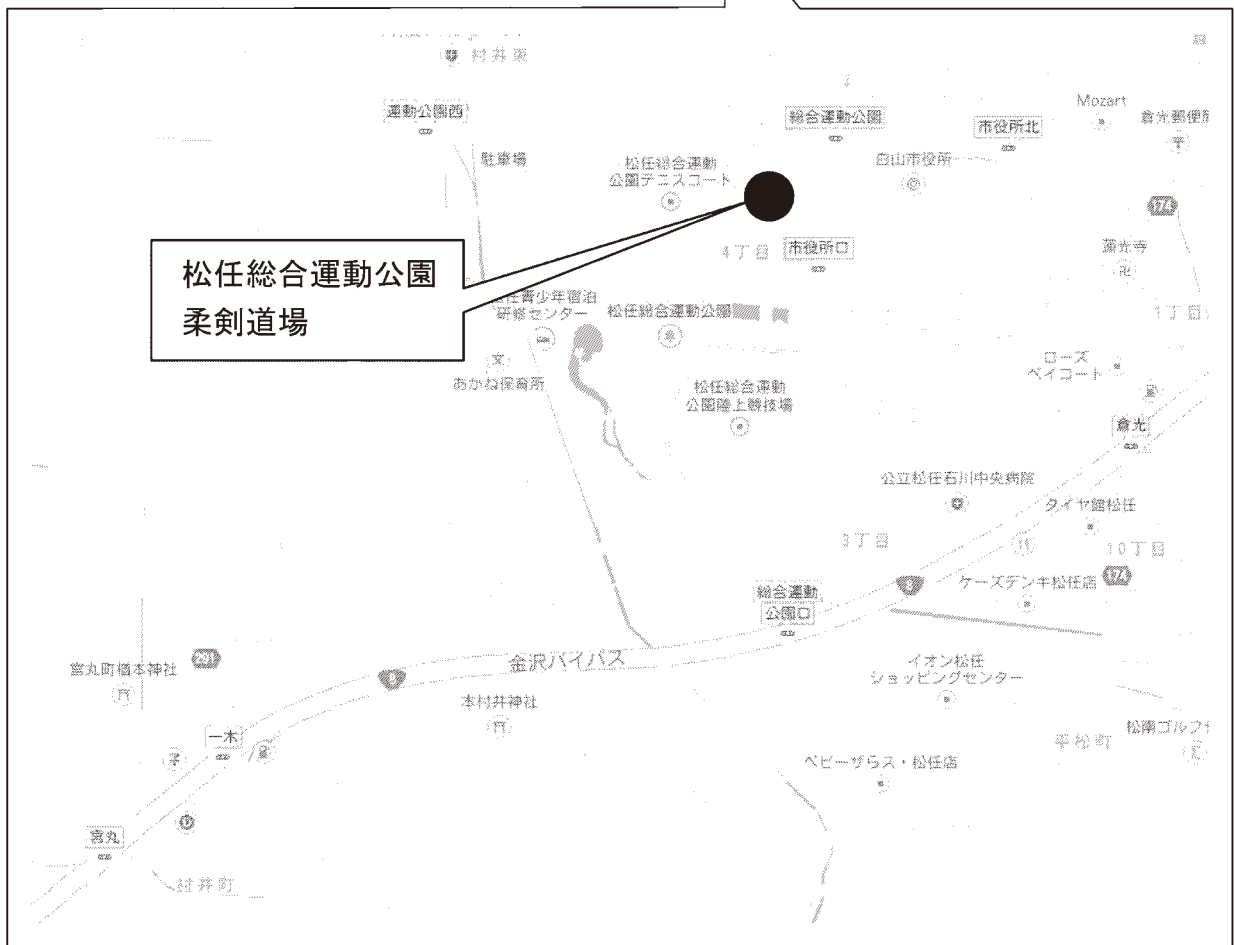
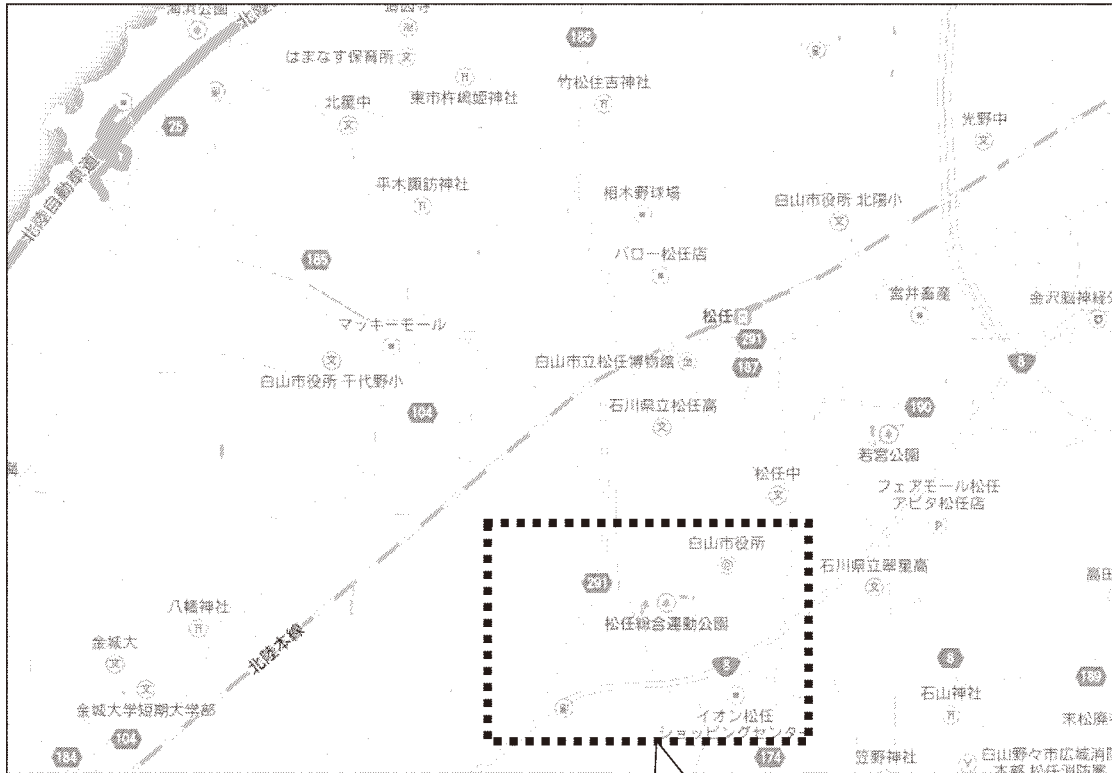
審判員の表示			判 定
○	○	○	1本となる
○	○	×	同 上
○	○	△	同 上
○	△	△	同 上
○	×	△	1本にならない
○	×	×	同 上

[反 則]

試合を公正に行わせるため、禁止事項があり、これを犯したときは「反則」とし、1試合中に反則を2回犯すと相手に1本を与えます。

反則事項は、両足とも場外に出る（場外行為）、相手を不当に場外に押し出す（不当な押し出し）相手に手をかけたり足をかけたりする（手がけ・足掛け）、木銃で相手の身体を打つ動作（危険行為）、相手の木銃を握る（木銃握り）、木銃を落とす（木銃落とし）、木銃の規定外のところを握った構え（不正握り）、試合者が接近し10秒以上離れようとしない（接近長し）などがあります。

# 競技会場案内図



## 宿 舎 一 覧 表

県 名		宿 舎 名	所 在 地	電話番号	備 考
富山県	少年男子	ホテルルートイン 美川インター	〒929-0201 白山市鹿島町2号1番	076-278-7711	
長野県	少年男子				
福井県	少年男子				
新潟県	少年男子				

### 救 急 指 定 病 院

公立松任石川中央病院

〒924-8588 松任市倉光3丁目8番地

TEL 076-275-2222

### 競 技 会 本 部

白山市松任総合運動公園柔剣道場

〒924-0865 白山市倉光4-22

TEL 076-276-4844

### 大 会 本 部

第35回北信越国民体育大会実行委員会事務局

金沢市稚日野町北222番地

公益財団法人石川県体育協会内

TEL 076-268-3100

FAX 076-268-3188

無限の夢へ、走りだそう。



# RING!RING! プロジェクト

競輪の補助事業

地方自治体が開催する競輪の売上金の一部は、モノづくり、スポーツ、地域社会への貢献など、さまざまな分野の事業に役立てられています。

くわしくはウェブで

RING!RING!

検索

